

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	言語工学特論		
英文授業科目名	Topics in Natural Language Processing		
開講年度	2009年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報工学専攻		
担当教官名	韓 東力		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>自然言語（人間の言葉）に代表される知識情報の処理は大きく、手続き型プログラミング言語による手法と論理型プログラミング言語による手法に分類される。この授業では、知識情報処理の概要と上記2つの手法の違いを習得する。また、コンピュータ上での演習を通して知識情報処理、特に自然言語処理における基礎的なプログラミング技法を習得する。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
C言語やPerlなどによるプログラミングの経験があることが望ましい。

【教科書等】
特になし。プリントを作成し授業時に配布する。

【授業内容とその進め方】
<p>内容： 知識情報の表現 自然言語処理 論理型のプログラミング言語 手続き型のプログラミング言語</p> <p>進め方： 講義とパソコンを使っでの演習を並行する。そのため、ノートパソコン(Windows)の持込が可能な人に限っ</p>

電気通信大学 平成21年度シラバス

て本講義を受講できる。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

演習の状況(70%)と出席(30%)により成績を評価する

【オフィスアワー：授業相談】

特になし

【学生へのメッセージ】

特になし

【その他】

特になし